

2014/12/25 (Thu.) 第90号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
 - 発行所 -
 日本医師連盟
 東京都文京区本駒込2-28-16
 〒113-8621
 TEL: 03-3947-7815
 FAX: 03-3947-2662
 E-mail: info01@nichiren.jp

http://www.nichiiren.jp/

定価 1年400円 (但し日医連負担金を含む)

参議院比例代表(全国区)選挙

(平成28年7月予定)

自見はなこ氏の推薦を決定!



日医連執行委員会で挨拶する横倉義武委員長(11月25日)

**日医連初の女性候補者擁立へ
日医連の団結と
医政活動の積極的展開を**

執行委員会の冒頭、横倉義武委員長は次のように挨拶した。あり、社会保障費については、最終的に政治の場で決着する。消費税一〇%への引き上げが延期されたことによる、社会保障費の抑制や、次期診療報酬改定に関する財源問題をどのように打開していくかということを今後検討していかなくてはならない。これらを解決するためには、我々も組織として一致団結していかなくてはならないと考えている。また、本日は次期参議院選挙への対応について



11月25日、日医連は、日本医師会館で常任執行委員会・執行委員会を開催し、自見はなこ氏(38歳・東京都医師会)を平成28年7月施行予定の参議院比例代表選挙における、日本医師連盟推薦候補者とするを全会一致で決議した。今後、自民党に公認申請を行う予定である。

「わが国は国民皆保険体制であり、社会保障費については、最終的に政治の場で決着する。消費税一〇%への引き上げが延期されたことによる、社会保障費の抑制や、次期診療報酬改定に関する財源問題をどのように打開していくかということを今後検討していかなくてはならない。これらを解決するためには、我々も組織として一致団結していかなくてはならないと考えている。また、本日は次期参議院選挙への対応について

も議論をいただきたい」と挨拶し、日医連(日医)の団結と医政活動の積極的展開を訴えた。引き続き、参議院推薦候補者選考過程について今村聡副委員長から次のような報告があった。

「九月の執行委員会のあと、全国の都道府県医師連盟へ比例代表候補者の公募をお願いし、十一月十四日に締切った。公募申請者は十一都県から推薦のあった自見はなこ氏一名のみであった。

去る十一月十八日に開催された常任執行委員会において、今回の公募状況の報告を行い、本日(十一月二十五日)の執行委員会におはかりすることを、全会一致でご了承いただいたことである。」

続いて横倉委員長から所属政党について「参議院比例区は政党からの立候補届出となるため、前回の執行委員会で決議いただいたとおり、自民党へ公認

プロフィール(平成26年12月現在)
 生年月日: 1976年(昭和51年)2月15日生(38歳)
 長崎県佐世保市生まれ
 所属医師会: 東京都医師会

自見はなこ(自見英子)

- (経歴)
- 1998年 筑波大学第三学群国際関係学類 卒業
 - 2004年 東海大学医学部医学科 卒業
 - 2004年 東海大学医学部附属病院初期研修
 - 2006年 池上総合病院内科後期研修
 - 2007年 東京大学医学部小児科入局・同附属病院小児科勤務
 - 2008年 青梅市立総合病院小児科
 - 2009年 虎の門病院小児科~現在(非常勤)
 - 2010年 国会議員秘書
 - その他 江東区大島小児科医院非常勤
大田区池上総合病院非常勤

- (免許・資格)
- 医師免許
 - 日本内科学会 認定内科医
 - 日本小児科学会 小児科専門医
 - 国会議員政策担当秘書資格
- (その他)
- 趣味: マラソン、読書、旅行
 - 2011年2月、ランナーとして参加していた青梅マラソンで人命救助を行い東京消防庁から消防総監感謝状(人命救助)を受けた。

全会一致で自見氏の推薦を決定

申請を行うこととなる」と説明があり執行委員の意見を求めた。主な意見として次のような発言があった。

○公募申請は一名であったが、他には候補となり得る人材はいなかったのか?

○若い候補者なので、日医連としてしっかりと育てていただくようお願いしたい。

(横倉委員長)「公募を行う以前の段階では、可能性のある方が若干名いたが、複数県からの推薦を要する等の公募要件や、自民党への公認申請の件等により候補予定者が絞りこまれた」との意見があった。

他に意見はなく、横倉委員長から「本日の議論を踏まえ、自見はなこ氏を次期参議院比例選挙における日医連の推薦候補者」として考えている」と提案があり、全会一致で自見はなこ氏を推薦候補者とすることを決議した。